

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(9/10)

文：武田、写真：倉谷

日時：2020(令和2)年9月10日(木) 9:30～14:30

気象：雨→曇

活動エリア：44林班ろ

活動内容：作業道整備(枯損木・倒木処理、林床整備)

参加者：猪川 誠、石原順子、内海宏一(午前)、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、薦田佳一、  
武田壽夫、中村賢三 会員10名

### <荒れもせて 二百廿日のお百姓(虚子)>

森林づくりにとっても台風が列島西に逸れたのは有難いことだが、そのあとの熱低が呼びこむ雨雲で予報は「時々雨」。早め降り始めたか、小屋での身支度中は堪える雨脚で、一時は小屋に身を寄せ合うようにして避難。30分程で通り過ぎたのが幸い。

さて、今日は7/19に取り掛かった**作業道整備の推進**。具体的には、道を遮る倒木や周辺の枯損木除伐、林床・路肩の整備が中心。弁当時から峰にガスが降りるようになり、雨は剣呑→**疲れもあり早めに作業止**メ。

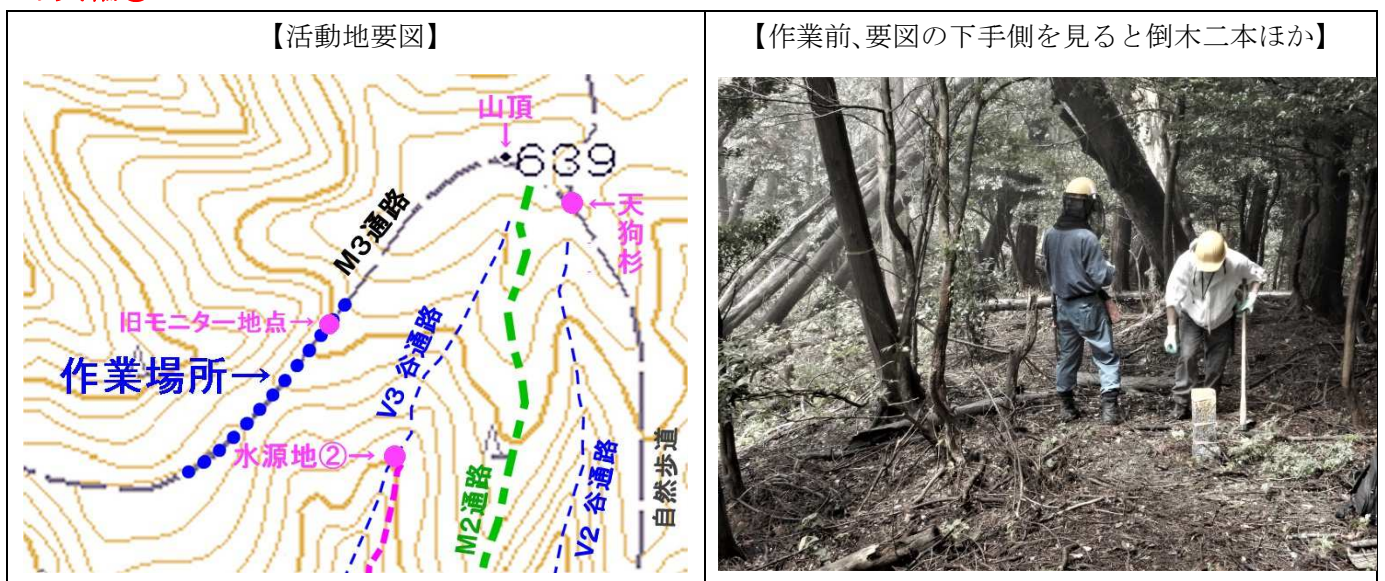
ツクツクボウシの声も間遠くなってきた。朝の気温は25℃(寒暖計は先月、小屋前に設置済み(附ケタリ))「文芸」はありがたい。9月10日は二百廿日、台風が遠く逸れてくれた直後でもありタイトルの俳句はこれにピッタリ。虚子にお礼。

### <今日の成果>

倒木・枯損木は10本は処理、玉切りした幹部は路肩整備に使用。約50mを道らしく仕上げる。

季節感是一对の**サルノコシカケ**と美味しそうな**長良川の鮎**をご賞味を。

### <写真編①>





<写真編②>

【作業道にかかった部分を切り落す】



【路肩に移動し道を守る】



【溪に落ちた処理木を引き揚げる】



【倒木処理、路肩整備終了】



【サルノコシカケが二つ】



【今年の鮎一井上会員提供】



